

## 福岡空港の総合的な調査

### PIレポートステップ2(詳細版)

(別冊付録)用語集

---



用語	読み	用語の意味
ISO	あいえずおー	国際標準化機構(International Organization for Standardization)の略称。 工業標準の策定を目的とする国際機関で、各国の標準化機関の連合体。1947年に設立され、2005年3月で149カ国が参加している。本部はスイスのジュネーブ。
ISO14001	あいえずおー14001	ISOが設けた規格で企業活動、製品及びサービスの環境負荷の低減といった環境パフォーマンスの改善を継続的に実施するシステム(環境マネジメントシステム(EMS:Environmental Management System))を構築するために要求される規格。
IMF	あいえむえふ	国際通貨基金(International Monetary Fund)の略称。 為替相場の安定を図ることを目的に設立された国連の専門機関。世界銀行と共に、国際金融秩序の根幹をなす。2003年7月現在の加盟国は184カ国。本部はワシントンD.C.。
ICカード	あいしーカード	ICやLSIを組み入れたカード。キャッシュカードなどに利用。 (IC:Integrated Circuitの略称。集積回路。) (LSI:Large Scale Integrationの略称。多数の集積回路群に相当する機能を、一枚の基板に集積化したもの。大規模集積回路。)
IT化	あいていーか	従来の情報伝達手段を、コンピューターを使ったデータ通信技術で効率的に行えるようになること。高度情報化。 ITとはInformation Technologyの略称で、情報通信技術のことであるが、近年はコンピューターを使ったインターネット等の通信技術のことを指すことが一般的である。
アジア通貨危機	あじあつうかきき	1997年7月よりタイを中心に始まった、アジア各国の急激な通貨下落(減価)現象のこと。 この現象は東アジア、東南アジアの各国経済に大きな悪影響を及ぼした。狭義には元々の通貨下落現象のみを指すが、広義にはこれによって起こった金融危機を含む経済危機を指す。
ASEAN	あせあん	東南アジア諸国連合(Association of South East Asian Nations)の略称。 1967年8月にバンコクで発足し、加盟国は、ベトナム、フィリピン、ブルネイ、マレーシア、インドネシア、シンガポール、カンボジア、タイ、ミャンマー、ラオスの10ヶ国。1997年にマレーシアで開催されたASEAN首脳会議に、日中韓の首脳が招待されて以来、ASEAN首脳会議にあわせてASEAN+3が年1回、開催されている。
ASEAN4	あせあんふおー	ASEAN加盟国のうち、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ。
IATA	いあた	国際航空輸送協会(International Air Transport Association)の略称。 国際定期航空会社の運賃やサービス内容まで、幅広く標準化や勧告、飛行安全のための研究を行っている機関。
EPA	いーぴーえー	経済連携協定(Economic Partnership Agreement)の略称。 特定の国や地域との間でのFTA(自由貿易協定)を基礎として、より幅広く経済的な関係強化を図ることを目的とする2国間や地域間の協定のこと。投資、人の移動、知的所有権、競争政策、協力などを含む協定であり、我が国は2002年11月にシンガポールとの間に、また2005年4月にメキシコとの間でEPAの発効に達したほか、韓国、タイ、フィリピン、マレーシアとも締結交渉を進めている。

用語	読み	用語の意味
eメール	いーめーる	インターネット上の電子メールシステム。インターネットを通じて文字メッセージの交換ができる。単に「電子メール」「メール」などと言った場合は、このeメールのことを指す場合が多い。
EU	いーゆー	欧州連合(European Union)の略称。 1993年11月に欧州連合条約(マーストリヒト条約)発効により、経済・通貨統合等を目指し設立された。第4次合併までの15ヶ国に加え、2004年5月の第5次合併で10ヶ国が加わり、現在25ヶ国が加盟している。
イールド	いーるど	輸送キロ当たりの旅客収入(1人の旅客を1km運送することによって得られた運賃の平均)のこと。様々な水準の運賃の加重平均値を示す指標となっている。
ICAO	いかお	国際民間航空機関(International Civil Aviation Organization)の略称。 国際民間航空条約に基づき国際民間航空の安全かつ秩序ある発展を目的に設立された国連の専門機関。本部はモントリオール。
インターネット	いんたーねつと	個々のコンピューター通信ネットワークを相互に結んで、世界的規模で電子メールやデータベースなどのサービスを行えるようにした、ネットワークの集合体。
ADSL	えーでいーえすえる	Asymmetric Digital Subscriber Lineの略称。 一般の電話回線を利用し、高速でインターネット接続サービスが利用できるシステムのうち、上り(ユーザー→事業者)に比べ、下り(事業者→ユーザー)の通信速度がより高速(非対称)なもののこと。ADSLサービスは、インターネット接続サービスとして家庭向けに広く普及している。
NPO	えぬぴーおー	Non Profit Organizationの略称。 非営利組織。政府や私企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで社会的な非営利活動を行う組織・団体。
FTA	えふていーえー	自由貿易協定(Free Trade Agreement)の略称。 2国間または地域間の協定により、関税や数量制限などの貿易の障害となる壁を相互に撤廃し、自由貿易を行うことによって利益を享受することを目的とした協定であり、EUやNAFTA等がある。 (NAFTA:北米自由貿易協定(North American Free Trade Agreement)の略称。米国、カナダ、メキシコ3国間の自由貿易協定であり、域内GDP約11.5兆ドル、人口4.1億という大規模経済圏。1992年8月に基本合意し、1994年1月1日から発効している。)
エプロン	えぷろん	飛行場で、旅客の乗降や貨物の積み降ろし、整備点検などを行うため、航空機が停留する区域。
OECD	おーいーしーでいー	経済協力開発機構(Organization for Economic Cooperation and Development)の略称。 30カ国(うち19カ国はEU加盟国)により構成され、先進国間の自由な意見交換・情報交換を通じて、1)経済成長、2)貿易自由化、3)途上国支援(これを「OECDの三大目的」という)に貢献することを目的とした組織。本部はフランスのパリ。
環境アセスメント	かんきょう あせすめんと	開発がもたらす環境への影響を、事前に予測・評価すること。1970年、米国の国家環境政策法(NEPA)で初めて法制化された。環境影響評価。

用語	読み	用語の意味
既存ストック	きぞんすとつく	過去に整備された建物や道路などの社会資本をいう。
空港管理状況調書	くうこうかんり じょうきょう ちょうしよ	公共の用に供されている空港ごとの着陸回数、乗降客数、貨物取扱量、郵便取扱量、航空燃料供給量の管理状況をとりまとめたもの。着陸回数及び乗降客数は、定期航空のほか、不定期航空などを含んでいる。国土交通省航空局が作成。
クラスター	くらすたー	本来「ブドウの房」を意味する言葉であり、群れや集団のことを指す。特定産業に関連する企業の集積や、特定分野の人材の集合を指す言葉として用いられている。
グラビティモデル	ぐらびていもでる	分布交通量を予測するモデルのひとつ。地球の重力等大きさを表す万有引力(グラビティ)の法則と同じ式の形をしており、両端のポテンシャル指標とその間のLOS(別項参照)を変数としている。
グローバル化	ぐろーばるか	資本や労働力の移動が活発化し、貿易や投資が増大することによって世界における社会的・経済的な結びつきが深まること。
経済財政諮問会議	けいざいざいせい しもんかいぎ	経済財政政策に関し、内閣総理大臣のリーダーシップを十分に発揮することを目的にして、2001年1月に内閣府に設置された合議制機関のこと。
航空の自由化	こうくうのじゆうか	航空業界の規制緩和と、これを受けた業界動向のこと。日本の航空自由化は、1990年代後半から運賃の自由化、需給調整の撤廃、新規参入の自由化などのステップで進められてきた。
航空輸送統計年報	こうくうゆうそう とうけいねんぽう	航空法に基づく許可を受けた航空輸送事業者、航空機使用事業者、貨物利用輸送事業者を対象に調査を行ったもの。調査項目には、路線別や区間別の旅客輸送量、座席数などがある。国土交通省総合政策局が作成。
高次都市機能	こうじとしきのう	都市自体が持つ機能のうち高いレベルのもののこと。行政、教育、文化、情報、商業、交通、レジャーなど、都市が住民生活や企業の経済活動に対して提供する各種機能(サービス)のうち、都市圏を越え、広域的に影響のあるものを指す。
交通利便性指標 (魅力度・交通利便性 指標)	こうつうりべんせい しひょう	アクセシビリティともいう。本予測では、交通利便性の度合を示す指標として、選択モデル(ロジットモデル)の式から導き出される値。例えば航空路線別交通量予測(ある目的地へ行くのにどの空港から出発するか)の段階では、空港までのアクセス交通の種類や頻度、その空港から目的地までの便数など(交通利便性)を評価した値のこと。なお、発生交通量の予測の段階では、変数となる指標が地域の魅力度と交通利便性をまとめた値であるため、魅力度・交通利便性指標として表記している。
高付加価値	こうふかかち	商品やサービスの価値について、高度化させること。ここでいう高度化とは具体的には、社会・利用者が受ける恩恵が大きいこと、経済性があること、高い技術性(品質、機能、性能、完成、環境配慮点)があること等の要件を満たすようにすること。
国際分業	こくさいぶんぎょう	国と国との間の分業。先進国と発展途上国の間における工業製品と一次産品との垂直的国際分業と、先進国間における工業製品の水平的国際分業に分けられる。
国連ハビタット	こくれんはびたつと	国際連合人間住居計画(United Nations Human Settlements Program)の略称。世界各地で急速に進む都市化や住居に関する様々な問題に取り込む国連機関である。ケニアのナイロビにある本部のほか、福岡市とリオデジャネイロに事務所がある。

用語	読み	用語の意味
コンパクトシティー	こんぱくとしていー	「住」も含めた様々な機能(「職」・「学」・「遊」等)を都市の中心部にコンパクトに集積することにより、中心市街地活性化等相乗効果を生もうとする概念で、都市の拡大により可住地を増やし続け人口を増大させる方策を取って来た従来の都市計画に対して、見直しを迫る考え方。特に1990年以降欧米諸国において、持続可能な都市のあり方として展開されてきた概念で、現在の人口増大が見込めない状況下において、都市の活力を保持する政策として注目されている。
コンベンション	こんべんしょん	各種団体・企業が催す大会、会議、博覧会、行事・催事等のこと。ビジネス交流や商品・サービスの発表会、国際会議が多いが、それ自体集客性の高いものであり、観光マーケティング戦略を支援・補強するという側面も有している。
SARS	さーず	重症急性呼吸器症候群(Severe Acute Respiratory Syndrome)の略称。SARSコロナウイルスを病原体とする新しい感染症で2002年に中国広東省などから各地へ感染が拡大した。2003年7月5日、WHOが最後のSARS伝播確認地域である台湾の指定を解除し、SARSの終息を宣言したが、終息宣言までの感染者数は8,098名、死者は774名に及んでいる。
サプライチェーン マネジメント	さぷらいちえーん まねじめんと	企業活動の管理手段の一つ。取引先との受発注、資材の調達から在庫管理、製品の配送まで、事業活動の川上から川下までを総合的に管理することで余分な在庫などを消滅し、コストを引き下げる効果があるとされている。
酸性雨	さんせいう	大気中の二酸化硫黄や窒素酸化物が溶け込んでいて酸性度の強い雨。動植物その他に被害を与える。
GRP	じーあーるぴー	域内総生産(Gross Regional Product)の略称。都市圏や経済圏、州や県など、一定の地域内で一定期間に生産されたモノやサービスの合計額のことをいう。
GDP	じーでいーぴー	国内総生産(Gross Domestic Product)の略称。国の所得の大きさを測る方法の一つであり、その国の領域内で一定期間内に生産されたモノやサービスの合計額のことをいう。
時間評価値	じかんひょうかち	人が評価する単位時間当たりの交通時間の価値のこと。一般には、貨幣価値換算し、円単位で表す。
システムLSI	しすてむえーすあい	多数の機能を1個のチップ上に集積した超多機能LSIのこと。ポータブルオーディオやデジタルカメラなど、特定用途の電子機器に組み込まれている。(LSI: Large Scale Integrationの略称。多数の集積回路群に相当する機能を、一枚の基板に集積化したもの。大規模集積回路。)
実質GDP	じつしつじーでいーぴー	GDP(国内総生産)のうち、物価変動の影響を除いた値を実質GDPという。
姉妹都市	しまいとし	親善や文化交流を目的として特別の関係を結んだ、国を異にする都市と都市。
ジャストインタイム	じゃすといたたいむ	必要な物を、必要な量だけ、必要な時に合わせて、必要な所へ届ける仕組みのこと。トヨタ自動車が「かんぱん方式」として全社的に採用したのがはじまりで、我が国における実践的物流理論として世界中に広まった。
重相関係数	じゅうそうかんけい すう	回帰式により推定したモデルの信頼性を表す指標の一つであり、式全体の説明性を表す。0~1の値であり、1に近いほど説明性は高い。p 個の変数があるとき、ある 1 変数を残りの p-1 個の変数で予測しようとするとき、その説明率を表す。

用語	読み	用語の意味
主要地域拠点空港	しゅようちいき きよてんくうこう	地域拠点空港のうち、路線展開と利用の状況などの点から、国内航空ネットワークの地域拠点として大都市圏拠点空港に次ぐ重要な役割を果たしている空港のこと。具体的には福岡、新千歳、那覇空港を指す。
世界銀行	せかいぎんこう	各国の中央政府または同政府から債務保証を受けた機関に対し融資を行う、国際連合の専門機関。国際通貨基金と共に、第二次世界大戦後の金融秩序制度の中心を担う。加盟国は184カ国。本部はワシントンD.C.。
潜在需要	せんざいじゅよう	供給不足のため、消費者のニーズが市場に現れてこない需要のこと。何らかの理由によってまだ現実の需要にならず、隠れて表面化していない需要のこと。
ゾーン	ぞーん	交通需要予測を行う際の地域区分のこと。交通特性が均一であることが望ましい。全国幹線旅客純流動調査や国勢調査等の交通需要予測に必要なデータの地域区分で分割されることが多い。
ソフトウェア	そふとうえあ	コンピュータが作業する手順を、コンピュータに適した形で記述したもの。狭義にはコンピュータプログラムとほぼ同じ意味。
WTO	だぶりゆていーおー	世界貿易機関(World Trade Organization)の略称。WTO協定の管理・運営、貿易紛争の処理等を担うとともに、加盟国間の貿易交渉の場を提供する機関で、1995年1月に発足。本部はスイス・ジュネーブ。WTOは、どの国に対しても同様の条件で関税などの通商規則を定めること(最恵国待遇)を原則としている。
WTO	だぶりゆていーおー	世界観光機関(World Tourism Organization)の略称。観光の振興と発展を目的として145ヶ国が加盟している国連機関。本部はマドリッド。
ダミー変数	だみーへんすう	数値化が困難な項目をモデルに組み込む場合には、「ある」(1)または、「ない」(0)かで指標化する。このようにして組み込んだ変数をダミー変数という。
知的クラスター	ちてきくらすたー	地域のイニシアティブの下で、地域において独自の研究開発テーマとポテンシャルを有する公的研究機関等を核とし、地域内外から企業等も参加して構成される技術革新システムをいう。
中核都市	ちゅうかくとし	地方圏(東京圏、関西圏、名古屋圏の三大都市圏以外の地域)における県庁所在地 や人口が概ね30万人以上の都市。
中枢都市	ちゅうすうとし	札幌、仙台、広島、福岡・北九州。
t値	ていーち	モデルの信頼性を示す指標の一つであり、各変数ごとのパラメータの有意性を表す。t値の絶対値が大きいほどその変数のパラメータは有意であり、通常2.0以上あれば十分とされている。

用語	読み	用語の意味
定数項	ていすうこう	選択肢ごとに個別に固定した効用値を定数項と呼ぶ。例えば推計するケースによって所要時間等の変数の値は変化するが、定数項の値は変化しない。
的中率	てきちゅうりつ	推定された結果の良否を判断するための統計的検定手法の一つ。モデル上で最大確率を持つ選択肢と実際に選んだ選択肢とが一致するサンプルの割合を示す。
デジタルコンテンツ	でじたるこんてんつ	電子化されている情報。流通にかかる費用が少なく、複製が容易であるなどの特徴をもつ。
テロ(テロリズム)	てる(てろりずむ)	政治的目的を達成するために、暗殺、暴行、粛清、破壊活動等の直接的な暴力やその脅威に訴える主義。
トランジット	とらんじつと	目的地に着く前に、一旦途中の空港で降りて便を乗り換えることをいう。
NIES	にーず	新興工業経済地域群(Newly Industrializing Economies)の略称で、工業化に成功した新興工業国家群のこと。アジア地域のNIEsは、シンガポール・韓国・台湾・香港。
ネステッド型	ねすていつどがた	例えば今回の交通機関選択モデルで  のように階層構造としたモデルの型のこと。
パラメータ	ぱらめーた	主たる変数あるいは関数に対して補助的に用いられる変数。例えば、関数 $x=f(t)$ と $y=g(t)$ とから $x$ と $y$ との関係関数が定まるときの $t$ のことをいう。
PFI	ぴーえふあい	Private Finance Initiativeの略称。広く、これまで公的部門がしてきたサービスやプロジェクトの建設や運営を民間主体に委ね、政府はサービスの購入媒体になるという民間資金構想をいう。
光ファイバー	ひかりふあいばー	光による情報伝達として用いる直径0.1ミリ程度のガラス繊維。光通信ケーブル。
ビザ	びざ	海外旅行者のため、入国希望国の駐在領事が、旅券を確かめて正当な理由と資格があつて旅行するものであることを証明する裏書き。滞在期間の短い旅行などの場合は、これを必要としない国が多い。入国査証。査証。
VJC (ビジットジャパン キャンペーン)	びじつとじゃぱん きゃんぺーん	Visit Japan Campaignの略称。訪日外国人旅行者数と日本人海外旅行者数との格差をできるだけ早期に是正することを目的とし、官民一体となって、15年度より本格的に実施している訪日旅行促進キャンペーンのこと。
非集計モデル	ひしゅうけいもでる	データをゾーン単位等で集計した結果からではなく、個人レベルのデータの選択実績を基に構築したモデル。
ビジョン	びじょん	将来の構想。展望。または、将来を見通す力。洞察力。

用語	読み	用語の意味
ふくおか ギガビットハイウェイ	ふくおか ぎがびつとはいうえい	2.4Gビット/秒の通信が可能な光ファイバーを使って、県内主要9都市を結び、企業イントラネット構築、ISPなど通信事業者の中継回線、大学・研究機関等のネットワーク構築などに低コストで利用できる高速・大容量ネットワークのこと。
複合産業	ふくごうさんぎょう	複数の産業が関係する産業。例えば観光は、旅行業、宿泊業、運輸業にとどまらず、飲食業、みやげ物販売を含む小売業、アミューズメント業、広告業、さらには農林水産業、製造業、建設業等あらゆる産業に関係する裾野の広い複合産業といえる。
プラザ合意	ぶらざごうい	1985年9月22日、当時の先進5カ国(米国、イギリス、西ドイツ、フランス、日本)は、協調して為替レートをドル安に進めることに合意した。これをプラザ合意と呼んでいる。プラザ合意とは、ニューヨークのプラザホテルで開催されたG5の通称。G5とは、当時の先進5カ国蔵相・中央銀行総裁会議のことをいう。
ブロードバンド	ぶろーどばんど	広帯域通信回線のこと。既存のアナログ回線に比べて大容量の通信回線のことを指すが、どの程度の回線容量があればブロードバンド回線かという明確な定義はない。概ね500kbps以上の高速回線。
プロジェクト	ぶろじえくと	企画。計画事業。研究開発計画。
ベリー	ベリー	航空旅客機の下部貨物室のこと。英語で「ベリー (belly)」とは「腹」の意味。
ベンチャー企業	べんちやーきぎょう	新しい分野に、専門技術を駆使し、チャレンジ精神を持って、果敢に挑む創造的企業のこと。英語で「ベンチャー (venture)」とは「冒険、投機」「危険を冒して行うこと」の意味。
ポテンシャル	ぼてんしゃる	潜在的な力。可能性としての力。
モーダルシフト	もーだるしふと	トラック中心の貨物輸送を、温室効果ガスの排出が少なくエネルギー効率の高い鉄道や海運へ転換させる等により、長距離幹線貨物輸送における環境負荷の削減を図ろうというもの。国土交通省等が総合物流施策の一環として推進している。
モデル	もでる	ある事象について、諸要素とそれら相互の関係を定式化して表したもの。
モビリティ	もびりてい	自由な行動の可能性(自由な行動のしやすさ)。
尤度比	ゆうどひ	尤度とは、ある観測データにあるパラメーターのもとで、確率的モデルが「どれくらいあてはまっているのか」を表す尺度のことをいう。尤度比とは、推定したパラメーターによって尤度がどの程度向上したかを示す指標で、0~1の値をとり1に近いほど良い。
ユニバーサルデザイン	ゆにばーさるでざいん	施設や道具などに採用される設計・デザインのうち、年齢・身体的能力などを問わず全ての人にとって利用しやすいものにする、という意図・性質を持つもの。
ライフスタイル	らいふすたいる	生活の様式・営み方。また、人生観・価値観・習慣などを含めた個人の生き方。
ロジットモデル	ろじつともでる	各個人は、選択可能なものの中から最大の効用を与える選択肢を選ぶという合理的選択行動をとるものと仮定し、確率的効用理論の考え方に沿って構築された非集計モデルのひとつ。
ロードファクター	ろーどふあくたー	航空機の提供座席数に対する利用座席数の割合。
LOS	ろす、えるおーえす	サービス水準 (Level of Service) の略称。 所要時間、費用、運行頻度等の交通での便利さを表す数値の総称。 交通経路を選択する際の評価指標。